

**令和3年度 2020物流TDM実行協議会事業に係る運営業務委託  
技術提案書記載事項**

記載項目		記載の観点		
1	物流TDMを取り巻く環境への理解度	本事業を効率的・合理的に推進するにあたって、東京2020大会の概要やこれまでのTDMの実施状況、物流を取り巻く最新の社会経済状況等、提案者の理解を記載すること。また、2020TDM推進プロジェクトの登録等を記載すること。		
2	本委託業務に対する理解度	本委託で実施する業務の目的・概要及び都の現状について、提案者の理解を記載すること。 物流TDMの意義・目的、本大会における重要性について、提案者の理解を記載すること。 本委託を理解した上で、業務において想定される課題とその対応策について記載すること。		
3	物流TDM対策の計画・準備・効果検証	計画策定において配慮すべき、大会準備や気運などの大会を取り巻く環境や、最新の社会経済状況を具体的に記載すること。 大会数カ月前、大会直前期、大会中、大会後のレガシーといったそれぞれの時期に見合う計画について、スケジュールを示して具体的に記載すること。 対策の実施範囲、中小企業等の地域別業種別取組方法、コンサルティング・周知の方法、商店街モデル事業の試行方法、好事例を認定・周知する方法など、物流TDM対策にとって必要な事項の計画方針について、具体的に記載すること。 物流TDM対策の効果検証の方法について、具体的に記載すること。		
		事務局機能の運営	ホームページや個別相談に係るシステムの管理・更新方法について具体的に記載すること。 問合せの対応方法について、具体的に記載すること。 協議会としての事務局活動における手続きの適正さを担保する方法について、具体的に記載すること。 協議会開催とその準備の想定について、具体的に記載すること。 物流TDM対策の各種取組相互の連携方法について、具体的に記載すること。	
			中小企業等への周知	周知物の印刷・配布計画について具体的に記載すること。 周知の時期・方法・範囲を考慮した周知物の内容について具体的に記載すること。 既存啓発物の配布計画について具体的に記載すること。
				中小企業等への理解・対策促進
	商店街における試行的取組の支援			
		4 事業実施体制	統括責任者や責任者・担当者等を示した体制図を記載するとともに、統括責任者の類似業務経験等客観的な指標を用いて、本業務に必要な能力等を備えていることを示すこと。また、複数会社の合同企業体で実施する項目がある場合は、その体制及び内容を記載すること。 業務内容、スケジュールに沿った人員配置計画を記載すること。業務スケジュール毎に業務実施にあたって必要な人員が割り当てられていることが理解できるように記載すること。 本業務を行う上での進捗管理方法について、具体的に記載すること。 本業務を行う上での関係機関との連携体制について、具体的に記載すること。 国又は公共団体が実施する社会実験協議会等類似の実績・業務運営経験や中小企業対策、物流対策などの実績について、あれば記載すること。 業務実施するにあたってのスケジュールを具体的に記載すること。	
	5 政策的評価項目		以下のうち該当する事項があれば、その項目を記載し、確認書類を提出すること。 (障害者雇用関係) ①提出した障害者雇用状況報告書等において、実雇用率が法定雇用率を上回っていること。 ②障害者優先調達推進法に規定する障害者就労施設等からの物品等の調達実績があること。(仕事と家庭の両立支援・女性の活躍推進関係) ③東京都産業労働局から東京ワークライフバランス認定企業の認定を受けていること。 ④東京都生活文化局から東京都女性活躍推進大賞の表彰を受けていること。 ⑤厚生労働省または都道府県労働局から次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみんマーク認定)を受けていること。 ⑥厚生労働省または都道府県労働局から均等・両立推進企業表彰を受けていること。 ⑦厚生労働省または都道府県労働局から女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業主認定(えるぼし認定)を受けていること。	
			6 その他	その他、本委託実施にあたっての更なる工夫・有用な提案があれば、その根拠とともに具体的に記載すること。